

〇〇 様

分析日

圃場名

【土壌分析 結果報告書】



営業担当	△△課 ●●
面積 (坪)	300
地区	
栽培方法	施設栽培
次作作物 (品種)	キク
定植予定日	
栽培期間	
希望元肥 / 堆肥	
前作物 (品種)	
栽培状況 / 病害虫等	
特記事項: 分析 依頼書参照	

分析項目 (単位)	EC (1:5) (dS/m)	pH(H ₂ O) (1:2.5)	pH(KCl) (1:2.5)	アモニア態窒素 (mg/100g)	硝酸態窒素 (mg/100g)	有効態リン酸 (mg/100g)	交換性石灰 (mg/100g)	交換性苦土 (mg/100g)	交換性加里 (mg/100g)	腐植 (%)
想定改良値※										
分析値	0.52	6.4	6.2	1.8	6.1	130	290	77	74	3.0
過剰 高い やや高い	0.3	6.4	5.9	5.0	10	50	300	67	50	5
標準	0.1	5.6	5.1	1.0	5	30	200	50	40	3
やや低い	0.1	6.8	6.6	0.3	9.2	110	330	76	77	2.3
低い 欠乏	0.52	6.4	6.2	1.8	6.1	130	290	77	74	3
分析項目 (単位)	陽イオン交換容量 (me/100g)	石灰飽和度 (%)	苦土飽和度 (%)	加里飽和度 (%)	塩基飽和度 (%)	石灰苦土比 (当量比)	苦土加里比 (当量比)	リン酸吸収係数	可吸態ケイ酸 (mg/100g)	遊離酸化鉄 (%)
想定改良値※										
分析値	16	65	27	74	99	2.7	2.4	***	***	***
過剰 高い やや高い	20	67	30	76	90	6.0	4.0	900	30	1.5
標準	10	53	24	70	70	3	2	500	15	0.8
やや低い	13	91	27	74	132	3.1	2.2			
低い 欠乏	16	65	27	74	99	2.7	2.4			

報告書
見本

診断コメント	ECはやや高めですが、窒素の残存量は標準です。元肥は基準の施用で問題ありません。
	pHは適正です。
	リン酸はやや高めです。リン酸の少ないV型肥料をお勧めします。
	石灰は標準、苦土と加里はやや多めです。石灰苦土比は低い状態ですが、塩基類（石灰・苦土・加里）は十分あるので、今回は投入しなくても問題ないと思われます。
	腐植は標準です。栽培を進めていくうちに減っていくので、堆肥など土壌改良材の継続的な投入がおすすめです。
	陽イオン交換容量は標準です。

ご提案資料	商品名	区分	規格	成分	数量(袋)	商品概要

※上記の施肥をした場合に想定される各項目の値を想定改良値としています。
◇作物の生育は、健全な土作りが出来ていても気象条件の変化等によって生育に大きく変化することがあります。

☆次回分析は 頃がお勧めです。是非ご連絡下さい。
イノチオ中央農業研究所 設計者： ◇◇